

【トラック8】

まる「それじゃあお兄さん、そこのソファ席に座ってくださいね〜♡」

まる「マルはお兄さんの膝の上に失礼して...よいしょっ、っと」

まる「むふふ〜、お顔...近いですね、向かい合うと照れちゃいます？」

まる「だってお兄さん...ロリコンですもんね♡」

まる「小さい女の子にお膝の上に座られて...胸元に手を添えられて...」

まる「じーっと見られるの、興奮しますう？」

まる「あれあれ〜、なんかマルのアソコにい...硬いものが起き上がってきましたあ♡」

まる「小さなお手てで乳首カリカリされながら、びゅぶ♡びゅくびゅく〜♡って...」

まる「こっそりザーメン、びゅっびゅしたの思い出しちゃいましたあ？」

まる「...ロリコンの変態さん♡」

まる「さてさて一っと、まずは上着を脱がして...」

まる「くすっ、やっぱりお兄さん期待してたんですね〜...だってこんな薄手のシャツ着て...」

まる「もう変態乳首がぷっくり膨れて、いやらしく主張してますよお？」

まる「ここをコスコス〜ってしたら、お兄さんどうなっちゃうのかなあ」

まる「あっ、あっ♡って、女の子みたいに恥ずかしい声漏らしちゃうんですよね〜」

まる「だってお兄さん、マゾ、ですもんね♡」

まる「シャツの上から乳首の周りを...さわさわ...さわさわ...」

まる「引っ掻くポーズみたいな指でえ、周りから指をだんだん乳首に近づけて...ぞわぞわ♡」

まる「まだ触れてあげませんよお、すぐに触れたらつまらないしい...」

まる「乳首の感度を高めましょうね」

まる「ぞわぞわ...女の子のおっぱいをやさしく焦らすように...」

まる「周りをさわさわ...ぞわぞわ...」

まる「くすっ、ますます勃起して...変態乳首さん苦しそうですねえ...」

まる「さっきからオチンボもどんどんバキバキになって...」

まる「こんな硬いのでマルのおまんこぐいぐい押されたらあ...」

まる「エッチなお汁で濡れちゃいますう♡」

まる「おまんこの責任、とってくれるんですかあ〜？」

まる「くすっ、もう面倒だからズボンも脱いじやいましょうよお...ね？」

まる「へーきです、どうせお客さんは来ないですって...それよりも」

まる「マルはこの反り返った、ぶっとおいおちんぽに興味津々なのです♡」

まる「くすっ、それじゃ、脱がしちゃいますねえ♡」

まる「うわ...スン、スンスン...くっさあ♡今日もえげつない匂い...♡」

まる「女の子を発情させる...蒸れたど下品ちんぽの匂いい...♡」

まる「はあ...くっさいです...もっと嗅いでいいですかあ？」

まる「鼻を近付けて...んぐっ、オス臭やばあ♡」

まる「...はあ...スンスン、スン...臭すぎて発情しちゃう♡」

まる「さて...それではチンポに跨って、マゾ乳首の続きしてあげますね〜」

まる「むふふ、チンポに感じますう？ マルのパンツ越しの、おまんこの感触♡」

まる「お兄さんの可愛い仕草とお、エロおい匂い嗅いじやったから...」

まる「もうパンツに染み...できちゃってるかも♡」

まる「くすっ、想像しましたあ？ マルの愛液で蕩けた、ロリまんこ♡」
まる「雑魚ちんぽ、マルの柔らかい足で挟みながらあ、パンツで押し潰してあげますう♡」

まる「乳首の周りさわさわされてフル勃起したおちんぽお...♡」
まる「その竿の先にい、とろとろのロリマンがあるんですよ？」
まる「くすっ、お兄さん...その顔サイコーです、にやけたロリコンのキモ顔♡」
まる「もーっと快樂を与えて歪ませたくなってきますう♡」

まる「それじゃあ...続き、しますね、でも乳首はまだおあずけです♡」
まる「ぷく一つと膨れた乳首の周り、乳輪を...乳首に触れないようにい...」

まる「くるくる...くるくる...くるくるくる♡」
まる「もどかしくてえ...乳首ぴんっぴんって触って欲しくてえ...」
まる「も一つと勃起、しちゃいますね♡」

まる「ほらあ...乳首に触れるか触れないかのところを...くるくる...」
まる「きわの部分を...くるくる...」
まる「乳首がピンピンになって...今触ったらすごく気持ちよさそお♡」

まる「ねえお兄さん...おねだり、してくださいよお？」
まる「ぼくのお、変態勃起乳首を...こねこねクリクリ、指でいじめてくださいって♡」

まる「もじもじしてるだけじゃ分らないですよ～？ どうしますう？」
まる「んー？♡.....くすっ♡」
まる「ちゃんと言えましたね♡えらいえらい♡」
まる「...乳首の快樂に逆らえない、変態マゾ♡」

まる「ご褒美に、ぷっくり膨れたマゾ乳首の先端を...人差し指で、ちょん...ちょん」
まる「あっあっ♡これだけで気持ちいいですねえ～♡」
まる「感度もあがって...あまあい刺激が脳に伝わっちゃう♡」
まる「んもう、だらしくビクビクして、その顔さいつこ～です♡」

まる「乳首の先端に当てた指を、優しく、ゆっくり...こすこす...こすこす...」
まる「気持ちいいところが擦れて...びくびく...きゅんきゅん...♡」
まる「あれあれ～、マルのお股でおちんぽビクって跳ねてますよお？」
まる「乳首好きの変態さんはチンポでおねだりするんですかあ？」

まる「くすっ、ほらあ...もっと、快樂堕ちしただらしない顔、見せてくださいよお♡」
まる「コスコスコスコス...ポッキ乳首を...さすさすさすさす...」
まる「脳が溶けるようなあまあい刺激が、むくむくむくむく...♡」

まる「今度はあ、やさしく両乳首をつまんで...やあん、こりっこり～♡」

まる「でも...まだ動かしてあげません♡」
まる「このまま我慢ですよ～？ 乳首さんも休ませてあげましょう♡」

まる「ねえ、ちゅーししょうか...くすっ、照れちゃって、かわいいですねえ♡」

まる「まずは軽く...んちゅ...ちゅ...どおですか？ マルの唇やわらかいですかあ？」

まる「次は舌を絡めて、んちゅ...ちゅば...れろお...んふっ...ちゅう...ちゅぷぷ♡」
まる「んちゅう...ちゅば...マルのお...んっ...くちゅ...」
まる「しゅぷ...だえき...おいひい、です？...ちゅるる...くすっ♡」

まる「ん...ちゅぷ...好き...お兄さんのよだれえ...ちゅる...」
まる「マル...好きですう...ちゅっ...じゅる...♡」

まる「ふはっ...むふふ、変態お兄さんも、えっちな涎もだぁーい好き♡」
まる「さてと、摘んだままで焦らしたこのマゾ乳首、遊んであげないとですね〜♡」

まる「くすっ、指で挟むようにして、優しく...コリコリ...コリコリ...♡」
まる「やぁ〜ん、たまんないですねえ、ふわふわした刺激がのぼってきちゃいますね〜♡」
まる「コリコリ...コリコリコリコリ...コリコリ...たまに刺激を強めて...きゅっ♡」
まる「今度はコリコリしたまま、さっきより激しめのディープキス、してあげます♡」

まる「口でセックスするみたいに舌を絡めてえ、えっちな唾液交換、しましょうねえ♡」

まる「お兄さんの勃起乳首、コリコリしたまま...」
まる「んちゅ...ちゅば...れろお...じゅるるっじゅるっ...」
まる「あはっ...んっ、ちゅう...きもひいい、きもひいですねえ...」
まる「ちゅる...じゅるる...ちゅばっ...こりこりい♡」
まる「乳首とお...ちゅる...んっ...お口の刺激で...じゅるっ...ちゅばっ」
まる「...じゅるっ...頭ばかになったださあい...ちゅっ」

まる「じゅるる...ちゅばっ、えへへ〜、あ...涎で糸引いちゃいましたあ、エッロお♡」

まる「にしてもお兄さんの蕩けたお顔、やばいですよお？」

まる「ロリコンで変態...乳首マゾのにやけ顔♡」
まる「そんな顔されたらマルのアソコがうずうずして...もっと濡れてきちゃいます...」
まる「お兄さんのオチンポも先走り汁でべっとべとお...もう我慢できない感じがですう♡」

まる「分かってますう？ 変態乳首でお漏らしたこの汚い汁...」
まる「マゾ汁って言うんですよ？ 乳首マゾの証明♡」
まる「乳首が敏感でアヘアへしちゃう...マゾ特有のエッチなお汁...」
まる「キンタマに溜めたザーメンと一緒に、いっぱい出しちゃいましょうねえ♡」

まる「今度はお待ちかねの、爪でカリカリ...してあげます♡」
まる「ボッキ乳首に爪を立てて...ほら、いきますよお？ ...カリカリ...カリカリ...」
まる「びくんびくんっ♡体もおちんぼさんも反応しちゃってます♡」

まる「弄ぶように...乳首の上を...カーリ...カーリ...カーリ...カーリ...」
まる「ふふっ、もどかしいですかあ？」

まる「優しく...カリカリ...たまぁに強い刺激を混ぜて...カリッ、カリッ...カーリ...カーリ...」
まる「次はちょっと早めに...カリカリカリカリ...カリッ...カリカリカリカリ...カリカリ...」

まる「やばあ、変態乳首嬉しいですね〜♡涎まで垂らしちゃって...」
まる「舐めてあげますよお...んちゅ...れろ...んっ」
まる「そうだ、もっと感じやすくするために、乳首に涎...垂らしてあげましょうかあ？」

まる「お口に...涎を溜めて...んっ、くちゅ...ちゅる...んう...んっ、ほら、みへますか？」

まる「この涎をお...まずは左の乳首に...んちゅ...んっ、んべえ...ぺっ...♡」
まる「や〜ん、お兄さんのシャツ、えっちな濡れ跡ができちゃいましたあ♡」
まる「もう片方もしてあげますねえ♡」

まる「んちゅ...じゅる...くちゅ...ふふっ、マルの唾液...多いでしょう？ ...んちゅ...」

まる「んっ、こうして...溜めて...んべえ...ふふっ右の乳首も濡れちゃいましたあ♡」

まる「ほら、自分の胸元みてください？」
まる「乳首の部分だけ染みになって透けて...変態そのもの♡」

まる「この状態でカリカリ続行してあげます♡」
まる「なんと今度はチンポの刺激つきですよ」

まる「マルがこの体制で腰を振りますからあ...」
まる「足に挟まれて、染み付きパンツに圧迫されて...擬似セックス感じてくださあい♡」
まる「頭の中でロリっ子との生ハメパコパコ、いっっぱい想像してくださいね♡」

まる「カリ...カリカリカリ...ちゅこちゅこ...」
まる「おまんこパコパコ...マゾ乳首を、カリカリカリカリカリ...」

まる「マルの涎でシャツがびったり乳首に張り付いて...」
まる「ひんやりした空気でさらに敏感になりませんか？」
まる「息を吹きかけてあげます...右の乳首はカリカリしながら...左の乳首を...」

まる「ふ〜、はあ〜♡」
まる「くすっ、どうです？マルの吐息感じますう？」
まる「ん...ふう...はあ〜♡ちよつとあったかいですか？」
まる「ん〜？舐めてほしそうな顔、してますね♡」

まる「んちゅ...ほらあ、さっきベロチューで涎交換したこの舌...これでらめてほしい？」
まる「やんっ、オチンポ跳ねた♡乳首でムラついてる雑魚ちんぽお♡」
まる「それじゃあお望み通り...右乳首を指で遊びながら...」
まる「左の乳首をちゅばちゅば、してあげます♡」

まる「ん...ちゆる...ちゅば...ほらあ...変態乳首い...じゆる...」
まる「ひたで転がしてえ...ちゅ...んちゅう...」
まる「ちゆる...ちゅ...んっ...はあ...ふふっ、ざあ♡ちゆる...じゆる...ちゅば...れろれろ...」
まる「おちんぽも...んちゅう...ちゆる...ちゅこちゅこお...」
まる「じゆるる...右乳首も...ちゅう...カリカリい...」

まる「じゅ...ちゅばっ...ふう...」

まる「くふふっ、お兄さんのそのとろけ顔...」
まる「マルの子宮にキュンキュンくるう♡」

まる「あっ、あっ、乳首気持ちいい...んっ...おっ、マゾ乳首反応して...」
まる「雑魚ちんぽビンビンでお返事しちゃいますう...っってお顔♡」

まる「乳首マゾの変態は本当に下品ですね♡」

まる「今度は涎でべちょべちょになった左乳首、コリコリしながらあ...」
まる「右乳首も舐めてあげますね...」
まる「右の乳首もピンって張って...期待、してたんですもんね♡」

まる「それじゃ...いただきま〜す♡」

まる「ん...ちゅぷ...れろれろ...ん〜？もしかして右の乳首の方が好きですかあ？」
まる「...じゅぷ...ちゆる...れろお...」

まる「んちゅ...ひたで先っぽを...チロチロして...勃起したまわりを...」
まる「ちゅう...ひたでなぞるように...ちゅば...」
まる「じゅぷ...今度は、吸い取るようにして...じゆる...じゆるるる...ちゅ〜〜」
まる「...ちゅばっ...くふふっ、変態♡」
まる「ちゆる...ちよつと強めの刺激も...」
まる「んっ、嚙んで、チロチロしてあげる...んむっ...ちゅば...れろお...」
まる「んちゅ...おちんぽ...びくびく...乳首コリコリ♡」

まる「変態マゾ乳首を...じゅる...んちゅう...舌で...じゅばじゅば♡」

まる「ぷはっ...くふふっ、乳首の部分だけスケスケになって...ほんと変態的ですよ♡」

まる「この状態でお外歩いたらどうなと思います？」

まる「...街の女の子みんなにクスクス笑われて...」

まる「きもっ、あの人のシャツ、乳首の部分だけ濡れて透けてるう〜♡変態♡」

まる「あの人乳首マゾなんだ〜、マゾ勃起した乳首を公開して興奮しちゃう...」

まる「キモキモのど変態さんなんだ〜♡」

まる「って、みんなにマゾ弄られますよ〜？」

まる「...おや？まんざらでもなさそうですね♡」

まる「女の子に笑われて、馬鹿にされて...」

まる「マゾ♡って罵られるのがだあい好きなんです〜♡この変態♡」

まる「くすっ、そろそろマゾミルクぶちまけたいですか？」

まる「さっきから下のオチンポさんもビクついてます♡」

まる「マゾ乳首を限界までいじめながらのお、乳首負け射精♡」

まる「この濡れ濡れのシャツの上から...両方の乳首を思いっきりい...♡」

まる「カリカリカリカリカリ...カリカリッ...カリカリカリ...っしてながらあ...」

まる「もう一回、舌でたっぷりラブラブペロチューして唾液交換をしながらあ...」

まる「柔らかな足と子供パンツに圧迫されて、びゅくびゅくお射精...したいですよえ♡」

まる「くすっ、もう心も体も素直...ロリコンで乳首マゾの変態さん♡」

まる「じゃあこっち見て、そう、だらしなく舌出してください♡もっと、も〜っと...」

まる「や〜ん恥ずかしいお顔ですよ♡キモキモだけどマルはそのお顔、好きですよ♡」

まる「んちゅ...じゅる...れろお...ほらあ...えっちなキス、しながらあ...ちゅば...じゅるる...」

まる「オチンポを...んむう...ぎゅっぎゅって、刺激してえ...じゅるる...ちゅば...」

まる「乳首を...んちゅ...にひっ...カリカリカリカリ...カリカリカリカリい...♡」

まる「このまま...びゅくびゅくザーメン出すまで、高速カリカリやめないであげます♡」

まる「んちゅ...ちゅば...じゅるる...好き...そのアへってるお顔...ちゅきい...♡」

まる「もっと感じてるとこ見せてえ...じゅる...ちゅば...んむう...好き...ちゅる、んはあ...」

まる「じゅるる...変態乳首もお...ずっと高速カリカリやめてあげません♡」

まる「...んちゅ...じゅば...んちゅう...」

まる「硬くて...ピンピンした乳首をお...ちゅる...じゅるる...」

まる「指で弾いて...乱暴にひっかいて...カリカリカリカリい♡」

まる「じゅるる...ちゅば...んむう...ちゅる...あはっ♡」

まる「乳首の刺激で脳みそ馬鹿になっちゃいますか〜？さいっこおです♡」

まる「ちゅる...じゅふ...んふふ〜♡勃起チンポもぐいぐい押し上げて...」

まる「じゅるる...もう限界そうですね♡」

まる「もうイってもいいですよ？」

まる「乳首の刺激がクセになるくらい、はしたないマゾ射精しちゃいましょ？」

まる「マルの染みつきパンツにびゅーびゅー射精してえ、孕ませるくらいの大量お射精...♡」

まる「マルのおまんこめがけて暴発させて...マルのこと、マゾミルクの虜にさせてくださあい♡」

まる「ほら、高速乳首カリカリしながら、最後は耳元で射精のサポートしてあげます♡」

まる「カリカリカリカリ...んっ、あっ、お～やばい、おっ、乳首やっばい♡」
まる「カリカリされる度に乳首がきゅんきゅんして...」
まる「幸せな気持ちちが頭で溢れてえ...乳首おしやせーすぐ決めたくなっちゃう♡」

まる「女の子の子供パンツにい、びゅーびゅーきったない精子...」
まる「ぶちまけて汚したい♡べとべとにしたい♡」
まる「あっあっ、マゾせーしのぼってきちゃう...おふっ」
まる「乳首いじめられて、キンタマでぐつぐつ作ったこってりザーメンくる♡」
まる「んっあっ、はぁん...きちゃうきちゃう...おっ、乳首高速カリカリとお...」
まる「ロリっ子の足とパンツでチンコ圧迫されてえ...雑魚ミルク暴発しちゃう♡」

まる「いいですよ～、イってください、変態さん♡」
まる「乳首を限界までいじめられて、マルの前で無様な変態射精してください♡」
まる「イケイケイケ...ほら、イーケ♡」

まる「ん...はぁ...♡びゅくびゅく～びゅるびゅる...びゅっびゅ♡」
まる「んっ...マルの染みつきパンツう...こってりザーメンでマーキングされちゃってる♡」
まる「はぁ...あ...あっつう...♡あったかいの、おまたに感じます♡」
まる「チンポもびゅくびゅく震えて...マゾの精子で孕んじゃいます♡」

まる「マゾチンポが落ち着くまで、優しく乳首撫でてあげますね...なでなで...さわさわ...」
まる「んふ、なんですかぁ？ そのお顔...とろけきって...キス、してほしいんですかぁ？」

まる「ん...んちゅ...じゅる...ちゅるる...お兄さんの精子...」
まる「パンツ越しにたっぷり伝わってくる...んちゅう...」
まる「マルのこと、そんなに孕ませたかったんですかぁ？」
まる「むふふっ...んー、ちゅ...ちゅば...じゅるる...♡」

まる「ちゅる...じゅぶ...お兄さん...とっても可愛いですよお...ちゅ...ちゅば...れろお...」
まる「ちゅば...ふふっ、お疲れ様です♡」

まる「さて、ちんぽもスッキリしたことですし...」
まる「いよいよマル特製のハンバーグの出番ですねっ！」

まる「あー、でもその前に...まずはお着替えしなきゃ、色々とべちよべちよ...」
まる「お兄さんはお暇だったらテレビ(有料)でも観てくださいね～」
まる「動画配信(さらに有料)も見れますよっ！」

まる「くすっ、ハンバーグは本当に自信作なので...」
まる「たっぷりお腹を空かせて待っていてください♡」